

平成26年度

気象研究所 研究成果発表会

～自然災害の軽減に向けた研究の最前線～

注意報・警報等の防災情報を発信している気象庁の技術的な基盤を支える気象研究所における最新の研究をわかりやすく紹介します。

日時 平成27年3月5日（木）13:30～16:30

会場 一橋大学 一橋講堂（学術総合センター内）

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号

参加無料

参加申込 <https://www.omc.co.jp/mriseika26/>

事前申込制（先着順）

講演題目

- 御嶽山噴火－水蒸気噴火のメカニズム解明に向けて－
横山 博文（火山研究部）
- 南海トラフ沿い巨大地震は予知できるか？－地震発生シミュレーションからの知見－
弘瀬 冬樹（地震津波研究部）
- 竜巻等突風の探知－フェーズドアレイレーダーが切り拓く世界－
楠 研一（気象衛星・観測システム研究部）
- 集中豪雨の発生メカニズム解明に向けて－平成26年8月20日広島豪雨事例－
加藤 輝之（予報研究部）
- 温暖化に伴い強雨は増えるのか？－アメダス観測が示す気温と強雨の関係－
藤部 文昭（環境・応用気象研究部）
- CONTRAIL プロジェクト－大型旅客機による地球規模の温室効果ガス観測－
松枝 秀和（海洋・地球化学研究部）

司会：浅川かがり（気象キャスター）

アクセスマップ



東京メトロ半蔵門線／都営地下鉄三田線・新宿線
「神保町」A8 または A9 出口から徒歩3分
東京メトロ東西線「竹橋」1b 出口から徒歩4分

問い合わせ先

気象庁 気象研究所 企画室
〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1
TEL：029-853-8546
E-mail：mriseika@mri-jma.go.jp